

令和 5 年度 下 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	ドリームシアター岐阜	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市明徳町6番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	99,531,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与え、安心して過ごすことができる安全な居場所を提供する。		
施設概要	「子どものフロア」(4・5階)、研修室3、会議室、和室2、クッキングルーム、プレイルーム、音楽スタジオ、リハーサル室、メインホール、クラフトルーム、「ドリーム ホット スペース」		

●利用状況

		R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期
各室稼働状況	利用者数(単位:人)	30,515	24,719	17,491	10,863	9,081
	施設各室の平均日数稼働率	63.0%	60.0%	58.7%	55.5%	38.8%
	施設(子どものフロア)の日数稼働率	99.3%	99.3%	91.7%	89.3%	81.3%

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①利用日・利用時間の厳守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①利用日・利用時間は厳守。 ②職員14人。サービスが低下しないよう、適切に人員を配置。 ③教育用タブレットPC内「Teams」への投稿。関係施設へのチラシ配布。ホームページ及びSNSによる情報提供。各種情報サイト、広報ぎふ、新聞、地域情報誌等、様々なメディアを活用した情報提供。 ④館内3か所に「ご意見箱」を設置。主催事業、個人利用事業等、全事業で利用者(参加者)アンケートを実施。窓口担当者及び活動担当者による聞き取り。把握した内容は、マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応。改善策、取組状況をホームページ及び館内掲示にて公表。
提案事業 指定事業	下記主催事業を実施すること ①子ども対象事業 ②親子対象事業 ③一般対象事業 ④イベント事業	主催事業の実施 ①子ども対象セミナー 32講座 45回 参加者 293人 ②親子対象セミナー 25講座 31回 参加者 346人 ③一般成人対象セミナー 2講座 8回 参加者 70人 ④人形劇鑑賞会等 19回 参加者 2,689人

施設管理	①日常・定期・特別清掃業務 ②タワーパーキング管理・保守点検 ③警備業務 ④自家用電気工作物保安全管理業務 ⑤舞台照明装置及び音響機器保守点検 ⑥展示備品保守点検 ⑦自動火災報知設備保守点検 ⑧空調設備保守点検 ⑨自動ドア保守点検 ⑩エレベーター保守点検 ⑪空気環境測定 ⑫飲料用貯水槽清掃 ⑬水質検査 ⑭ねずみ等の生息調査及び駆除	①清掃業務 ・日常清掃 毎日実施(開館日) ・定期清掃 床面:12・3月実施 グリストラップ:12月実施 照明器具・換気扇:1月実施 カーペット:3月実施 ②タワーパーキング保守点検:毎月実施 ③警備業務 ・日常警備 毎日(開館日) ・機械警備 毎夜(午後9時～午前9時) 休館日(午前9時～翌日の午前9時) ④自家用電気工作物保守管理:11・1・3月実施 ⑤舞台照明装置及び音響機器保守点検 ・舞台照明装置:11・3月実施 ・音響機器:12・1月実施 ⑥展示備品保守点検:2月実施 ⑦自動火災報知設備保守点検:1月実施 ⑧空調設備保守点検:11・1・2月実施 ⑨自動ドア保守点検:2月実施 ⑩エレベーター保守点検:毎月実施 ⑪空気環境測定:11・1・3月実施 ⑫飲料用貯水槽清掃:上半期実施 ⑬水質検査:3月実施 ⑭ねずみ等の生息調査:上半期実施 ※職員による施設点検:毎日実施(開館日) ※「子どものフロア」(4・5階)の換気:CO2センサーを確認し、適宜実施 ※遊具・玩具の清掃:週2回実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検による、迅速・適切な修繕の実施例 ・蛇口パーツの取替修理(水漏れを確認し、即時対応) ・大型自動人形の作動ボタンの修理(不具合を確認し、即時対応) ・照明器具の取替修理(不具合を確認し、即時対応) ②職員による修繕・整備の実施例 ・ドアの建付け修理 ・自動手洗い器の取替修理 ・トイレバルブの取替修理 ・テレビ台の製作・設置 ・遊具の製作・設置 ・クラフト工具の整備
危機管理法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①メール誤送信対策ソフトを導入するとともに、全職員を対象とした個人情報保護・情報セキュリティ研修を毎月実施するなど、前回9月に引き起こしてしまった個人情報漏えい事案に対する再発防止策を確実に履行。 ②職員に対する「緊急時対応マニュアル」の周知徹底及び実践的な研修(訓練)の実施。ホームページや館内掲示、直接的な呼びかけなど、多様な手段で利用者に注意喚起。 ・消防訓練の実施。 ・13名の職員が救命技能を保持。 ・「災害対応マニュアル」及び「避難所運営マニュアル」に基づく対応の確認。 ③地方自治法、岐阜市ドリームシアター岐阜条例・同施行規則等、関係法令に基づき適切に運営。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	○主催事業アンケート ・子ども対象セミナー、「人形劇鑑賞会」等の参加者を対象にアンケートを実施 質問項目:「事業満足度」「事業を知った広報媒体」「意見・要望」等 ○個人利用事業アンケート ・「子どものフロア」(4・5階)利用者を対象にアンケートを実施 質問項目:「利用全般」「楽しかった体験・遊び」「意見・要望」等 ○団体利用事業アンケート ・小中学校、幼稚園、保育所等の利用団体を対象にアンケートを実施 質問項目:「利用全般」「施設設備」「接客マナー」「意見・要望」等 ○貸室事業アンケート ・メインホール、研修室等の貸室を利用する団体を対象にアンケートを実施 質問項目:「利用全般」「施設設備」「接客マナー」「意見・要望」等 ○市民アンケート ・他施設の利用者を対象にアンケートを実施 ※出前講座・イベント協力の機会に実施 質問項目:「当施設の利用の有無」「子ども向け事業の認知度」「興味・関心がある活動」等
利用者アンケートの実施結果	○主催事業アンケート 【セミナー事業:子ども対象セミナー・親子対象セミナー・一般成人対象セミナー】 ・回収枚数379枚(初回利用111枚 複数回利用268枚) ①「事業満足度」(満足度97.9%) ※カッコ内の満足度:「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合(以下同じ) 初回利用 大変満足 84.7% 満足 15.3% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 83.2% 満足 13.8% ふつう 2.2% 不満足 0.8% 大変不満足 0.0% ②「事業を知った広報媒体」 ※「Teams」:小中学校で配布されている教育用タブレット 初回利用 チラシ 28.8% 広報ざふ 31.6% HP・SNS 16.2% 「Teams」 1.8% その他 21.6% 複数回利用 チラシ 53.0% 広報ざふ 13.8% HP・SNS 18.3% 「Teams」 3.3% その他 11.6% <主な意見> ・「初めて三味線を習って、曲(千本桜)が弾けたので、うれしかった。」(子ども対象セミナー) ・「とても楽しい習字教室で、大人も子どももしっかり評価してもらえた。」(親子対象セミナー) ・「やさしく教えてくださり、いろいろなお惣菜メニューが作れてよかった。」(一般成人対象セミナー) ・上記①「不満足」(複数回利用0.8%・2件)について ・いずれの意見もお菓子作りに関する一般成人対象セミナー 「自分一人でもできそうな内容が多かった。」「レシピがわかりづらく、おいしくなかった。」 ⇒講師とともに、活動内容・手順等の見直し・改善を行い、次年度の実施に向けて準備。 【イベント事業:人形劇鑑賞会・ファミリー劇場・ドリームフェスタ秋 等】 ・回収枚数282枚(初回利用111枚 複数回利用171枚) ・「不満足」「大変不満足」の回答はなし ①「事業満足度」(満足度98.2%) 初回利用 大変満足 73.0% 満足 27.0% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 75.5% 満足 21.6% ふつう 2.9% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% ②「事業を知った広報媒体」 初回利用 チラシ 25.0% 広報ざふ 15.4% HP・SNS 36.5% 「Teams」 4.8% その他 18.3% 複数回利用 チラシ 29.7% 広報ざふ 19.4% HP・SNS 34.8% 「Teams」 1.3% その他 14.8% <主な意見> ・人形の動かし方も歌も言葉のかけ合いも素晴らしく、とても感動した。(人形劇鑑賞会) ・演奏にぐづけになり、想像の100倍楽しめた。(ファミリー劇場) ・やったことがない体験がたくさんできて、よかった。(ドリームフェスタ秋) ○個人利用事業アンケート ※対象:「子どものフロア」(4・5階)利用者 ・回収枚数102枚(初回利用36枚 複数回利用66枚) ・「不満足」「大変不満足」の回答はなし ①「利用全般」(満足度99.0%) 初回利用 大変満足 80.6% 満足 19.4% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 77.3% 満足 21.2% ふつう 1.5% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% ②「楽しかった体験・遊び」(複数回答可) 初回利用 遊具・玩具等の遊び 62.5% 物づくり 21.4% TVゲーム 10.7% 絵本・マンガ 5.4% 複数回利用 遊具・玩具等の遊び 40.3% 物づくり 29.2% TVゲーム 21.5% 絵本・マンガ 9.0% <主な意見> ・楽しく安心して遊べる場所で、何度でも来たい。 ・子どもたちに優しく接しているスタッフの姿に感心した。 ・大道芸の皿回しを、次はもっとうまくできるようにしたい。

	○団体利用事業アンケート ※対象:小中学校、幼稚園、保育所等の団体利用者 ・回収枚数77枚(初回利用25枚 複数回利用52枚) ・「不満足」「大変不満足」の回答はなし ①「利用全般」(満足度100%) 初回利用 大変満足 92.0% 満足 8.0% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 75.0% 満足 25.0% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% ②「施設設備」(満足度100%) 初回利用 大変満足 92.0% 満足 8.0% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 73.1% 満足 26.9% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% ③「接客マナー」(満足度94.8%) 初回利用 大変満足 96.0% 満足 0.0% ふつう 4.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 75.0% 満足 19.2% ふつう 5.8% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% <主な意見> ・たくさんの遊具があり、どれも夢中になれるものばかりだった。 ・各フロアに担当職員の方がいて、丁寧に対応してくださり、ありがたかった。 ・遊びや片付けをスムーズにできる工夫がたくさんあり、参考になった。
	○貸室事業アンケート ・回収枚数293枚(初回利用53枚 複数回利用240枚) ・「不満足」「大変不満足」の回答はなし ①「利用全般」(満足度99.7%) 初回利用 大変満足 83.0% 満足 17.0% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 69.6% 満足 30.0% ふつう 0.4% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% ②「施設設備」(満足度97.6%) 初回利用 大変満足 83.0% 満足 15.1% ふつう 1.9% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 70.3% 満足 27.1% ふつう 2.6% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% ③「接客マナー」(満足度98.3%) 初回利用 大変満足 84.9% 満足 9.4% ふつう 5.7% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 72.5% 満足 26.7% ふつう 0.8% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% <主な意見> ・いつも気持ちよく使わせていただいている。 ・環境が整っており、楽しく活動できた。 ・いろいろなことに柔軟に対応していただけた。
	○市民アンケート ※対象:他施設の利用者 ・回収枚数87枚 ①「当施設の利用の有無」有40.2% ②「子ども向け事業の認知度」55.2% ③「興味・関心がある活動」 ・科学実験、パン作り、ダンボール工作、ダンス、昔の遊び 等
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	利用者の要望・苦情に対しては、下記のとおり適切に対応。 <主な要望・苦情> ・質問を受け付ける時間をもってほしい。(セミナー参加者) ⇒質問時間を十分に確保できるよう、講師とともに活動計画を見直し・改善。 ・シンクや洗剤の容器にチョコのような汚れがあった。(クッキングルーム利用者) ⇒点検・清掃時のチェック項目を、全職員で再度確認。 ・部屋での活動中に正午を知らせるBGMが流れた。(リハーサル室利用者) ⇒BGMを流す操作盤(ON・OFFの箇所)の確認作業を、複数人で確実に行うよう、職員に徹底。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者要望・意見を把握し、それを基に公正な施設運営に努めているか。 ・条例・施行規則に則った利用許可を行っているか。	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施 各フロアの特質を生かした特徴的なサービス提供や、市民協働によるサービス向上、体験コーナーの充実を図っているか。	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施 参加者や利用団体の要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施 施設利用や主催事業のPR活動とともに、新しいプログラム開発に努め、利用拡大を図っているか。	A	A	A
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・質の高い文化体験の提供や効率の良い施設管理をするために、各分野に精通した職員を配置しているか。	S	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	S	S	S
		区分評価				S
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・教育文化施設を管理運営するために、その事業の運営に適した人材の採用と専門性を有するスタッフの育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

【公平性・透明性】

- ・子どもたちの視点に立った施設づくりを推進するため、新たな取組みとして、11月に市内中学校の「校内フリースペース」を利用する中学生との意見交換会を開催した。また、3月には参加者を募集し、今年度2回目の子ども会議を開催した。
- 意見交換会の議題(参加者):「ドリーム ホット スペース」(2階)の運営について(中学生8名)
- 子ども会議の議題(参加者):「子どものフロア」(4・5階)の運営について(小学生7名)
- ・当館の利用者だけでなく、より広く市民の声を収集するため、他施設の利用者を対象としたアンケート調査を実施し、この結果も踏まえながら、広報手段の見直しを図ったり、次年度の主催事業計画を策定したりした。
- 質問項目: 当館の利用の有無、子ども向け事業の認知度、興味・関心がある活動
- ・新聞や地域情報誌などの紙媒体に加え、各種情報サイトやInstagram、YouTubeを積極的に活用し、幅広く情報提供を行った。
- 活用した情報サイトの種類:14種類 Instagram投稿数:3回 YouTube投稿数:5回
- ・上記の情報サイトのうち、お出かけ情報量日本最大級の「子どもとお出かけ情報サイト いこーよ」の月間アクセス数において、今期も6カ月連続で県内1位(児童館のカテゴリー)となった。
- 参考: 県内87施設中1位(東海地区415施設中6位) ※3月末現在
- ・ホームページについては、施設案内に動画を取り入れたり、リサイクル工作の紹介コーナーを設けたりして、改善・充実を図った。
- ・アンケート結果については、ホームページ及び館内掲示で公表し、透明性の確保に努めた。(子ども向け・一般向けの2種類を掲載・掲示)

【効果性】

- ・「子どものフロア」(4・5階)のサービスの充実を図るため、職員手づくりの遊具を新たに3種類設置したほか、物づくりや音楽鑑賞などに関するミニイベントを計32回実施した。
- ・「ドリーム ホット スペース」(2階)については、利用者一人一人に寄り添った親切・丁寧な対応に努めるとともに、継続的な利用につながるよう、遊びメニューや図書などの入れ替えを定期的に行った。
- 今期の「ドリーム ホット スペース」(2階)の月平均利用者数:146.7人(前年同期:71.7人)
- ・主催セミナーについては、小中学生を対象にしたセミナーの充実重点を置きながら、新規講座を積極的に実施した。
- 新規講座の講座数(主催セミナー全体の講座数):17講座(59講座)
- 新規講座の例:「コイルモーターを作ろう」「バレンタインデーのお菓子作り」「箏曲クラブ」
- ・上記の新規講座を含め、各講座の実施にあたっては、子どもたちの“主体的な学び”を大切にしながらプログラムづくりを行った。
- 例:「ミュージシャンクラブ」(小中学生を対象とした6日間のコース講座)
 - ・学校・学年が異なる子どもたちが、自分たちでパート(演奏する楽器)を決めてバンドを組み、課題曲を練習
 - ・当館での講師による直接指導に加え、楽器を貸し出し、子どもたち一人一人が自宅でも自主練習
 - ・最終日(6日目)に保護者を中心とする観客の前で演奏

- ・草潤中学校をはじめ、近隣施設(機関)と連携し、下記の取組みを実施した。

取組み:草潤中学校

- ・池の清掃活動への協力及び「年始めの活動」での体験ブースの出展
- 子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”
- ・通所生のみなさんに当館を利用してもらい、各種体験メニューを提供
- 柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」
- ・「ツナグテ」利用者に対して、当館の物づくりメニューの体験会を実施
- 中央青少年会館
- ・「ドリームフェスタ秋」と「中青フェスタ」を同日開催し、相互PRを推進

- ・主催事業、個人利用事業等、全事業でアンケート調査を実施するとともに、活動毎に担当者を配置し、きめ細かく聞き取りを行った。

なお、アンケート調査による各事業の満足度の結果は、下記のとおりとなった。

各事業の満足度:主催事業98.0%、個人利用事業99.0%、団体利用事業100%、貸室事業99.7%

- ・今期実施した主催セミナー59講座のうち、15講座は職員自らが講師を務めており、そのいずれも非常に高い満足度を得ることができた。また、出前講座や指導者向け研修会の講師としても、多くの団体(機関)の依頼に応えた。

職員が講師を務めた主催セミナーの満足度:100% 出前講座における講師活動:8回

指導者向け研修会における講師活動:2回

【効率性】

- ・子どもたちが描いた絵を飾ることができる特製プランターの製作をはじめ、下記の例のように、手づくりのよさを様々な取組みに生かし、経費の縮減と利用者サービスの向上の両立を図った。
- 例:遊具の製作・設置、季節に合わせた館内装飾、各種案内表示
- ・“自分たちでできることは、自分たちで”をモットーに、遊具や机、椅子などの備品はもちろんのこと、設備に関わる部分まで、可能な限り職員で修理を行った。
- 例:ドアの建付け修理、自動手洗い器の取替修理、トイレバルブの取替修理
- ・牛乳パックや空箱、木片などの廃材を活用したリサイクル工作メニューを積極的に取り入れ、経費を抑えながら、充実した物づくり体験を提供することができた。
- 今期「子どものフロア」(4・5階)で提供したリサイクル工作メニュー:13種類
- ・館内巡回を徹底するとともに、利用者にも無理のない範囲で協力を求め、引き続き、節電・節ガス・節水対策に取り組んだ。

	【安定性・安全性】 ・今期実施した主催セミナー59講座のうち、15講座は職員自らが講師を務めており、そのいずれも非常に高い満足度を得ることができた。また、出前講座や指導者向け研修会の講師としても、多くの団体（機関）の依頼に応えた。 - 職員が講師を務めた主催セミナーの満足度:100% 出前講座における講師活動:8回 - 指導者向け研修会における講師活動:2回 ・全館利用の主催イベント「ドリームフェスタ秋」「ドリームフェスタ冬」では、当事業団本部（事務局）より2名の職員を派遣し、活動支援体制の強化を図った。 ・年度当初に策定した職員研修計画（目標:全職員年間6回以上）に基づき、全職員が積極的に研修に取り組み、目標を達成することができた。また、この取組みを通して、今期は1名が「おもちゃインストラクター」の資格を取得した。 ・上記の職員研修計画には、児童館・児童センターとの合同研修も盛り込んでおり、この機会を通じて、各施設職員との情報交流も推進することができた。 - 合同研修会への参加:5回（うち3回は当館で開催） ・研修成果については、研修報告会を通じて全職員で共有化を図るとともに、その成果を早期に実践に生かせるよう、担当者の割振りを行い、さらなるスキルアップにつなげた。 - 例:音響機器研修に初めて参加した職員⇒研修翌月の音楽イベントで音響係の補助を担当 ・前回9月に引き起こしてしまった個人情報漏えい事案に対しては、メール誤送信対策ソフトを導入するとともに、全職員を対象とした個人情報保護・情報セキュリティ研修を毎月実施するなど、再発防止策を確実に履行した。また、そのほかのリスクに対しても、ハード・ソフト両面から安全対策の徹底を図り、事故や大きなケガなどはなかった。 【貢献性】 ・柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」と連携を図り、前回9月に引き続き、2月にも「ツナグテ」利用者に当館の物づくりメニューを体験してもらう取組みを実施した。 ・物づくりやレクリエーション活動などに関する専門性を生かし、地元団体（機関）に対して、計8回の出前講座を実施した。 - 実施先:市橋小学校、東児童センター、加納幼稚園、北青少年会館、長森地区子ども会等 ・中学生に職場体験の機会を積極的に提供し、きめ細かく指導・支援を行った。 - 受入れ実績:4校・14名 ・社会教育やボランティア活動に興味・関心がある岐阜大学の学生56名の実習受入れを行い、当館の役割や体験活動の意義などを学んでもらうことができた。 ・高齢者を含め、63名の方が「ドリームサポーター」（施設ボランティア）に登録されており、「子どものフロア」（4・5階）利用者への対応をはじめ、「人形劇鑑賞会」の活動補助やミニイベントの企画・運営など、幅広く活躍してもらうことができた。 ・全館利用の主催イベント「ドリームフェスタ秋」「ドリームフェスタ冬」では、上記の「ドリームサポーター」に加え、市民活動団体や市ジュニア・シニアリーダークラブ、大学サークルのみなさんとも協働して、事業を展開することができた。 「ドリームフェスタ」参画団体:秋・冬各6団体 ・地元の活性化や科学教育の振興などに貢献できるよう、様々なイベントへの協力（体験ブースの出展）を行った。 - イベントの名称（会場・実施日）: 「ぎふ信長まつり」（当館2階・11/4、5） 「金華橋ストリートパークタウン」（金華橋通り・11/17、18、19） 「ぎふサイエンスフェスティバル」（市文化センター・11/18） 「ハートフルフェスタ」（ハートフルスクエアG・1/20） 「ファミリーフェア」（市少年自然の家・3/20） ・その他、「アダプト・プログラム」「ベルマーク運動」「こどもスマイルステーション」「赤ちゃんステーション」「子ども110番の家」などの取組みも継続している。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	【所管課の前回意見に対する取組み状況】 ○子どもが施設に関して話し合う会議を開催するなど、子どもたちが主体的に考え、意見を述べる場を提供している。 ⇒新たな取組みとして、11月に市内中学校の「校内フリースペース」を利用する中学生と、「ドリーム ホット スペース」（2階）の運営についての意見交換会を開催した。また、3月には参加者を募集し、今年度2回目の子ども会議を開催した。 意見交換会の議題（参加者）:「ドリーム ホット スペース」（2階）の運営について（中学生8名） 子ども会議の議題（参加者）:「子どものフロア」（4・5階）の運営について（小学生7名） ○新規講座を多数開催したり、柳ヶ瀬子育て支援施設ツナグテと連携し、ドリームシアター岐阜の活動を体験してもらうイベントを開催するなど、様々な新規事業を工夫して実施している。 ⇒主催セミナーについては、小中学生を対象にしたセミナーの充実重点を置きながら、17講座の新規講座を実施した。また、そのほかにも、草潤中学校の池の清掃活動に協力したり、道路空間を活用して、にぎわいにつなげていく社会実験「金華橋ストリートパークタウン」に体験ブースを出展したりする取組みなどを新たに実施した。 ○児童館・児童センターや各種施設等に出前講座を実施したり、地域のボランティアに事業の補助や企画等を行ってもらうなど、地域の団体や住民との連携に努めている。 ⇒物づくりやレクリエーション活動などに関する専門性を生かし、地元団体（機関）に対して、計8回の出前講座を実施した。また、「ドリームサポーター」（施設ボランティア）のみなさんに活動の機会を幅広く提供するとともに、全館利用の主催イベント「ドリームフェスタ秋」「ドリームフェスタ冬」では、市民活動団体や市ジュニア・シニアリーダークラブ、大学サークルのみなさんとも協働して、事業を展開することができた。 「ドリームフェスタ」参画団体:秋・冬各6団体 ○リスク管理及び全職員への研修等の実施を改めて徹底する必要がある。 ⇒前回9月に引き起こしてしまった個人情報漏えい事案に対しては、メール誤送信対策ソフトを導入するとともに、全職員を対象とした個人情報保護・情報セキュリティ研修を毎月実施するなど、再発防止策を確実に履行した。また、そのほかのリスクに対しても、ハード・ソフト両面から安全対策の徹底を図り、事故や大きなケガなどはなかった。（※1） 【評価委員会の前回意見に対する取組み状況】 ○所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。リスク管理においては徹底をお願いしたい。 ⇒上記（※1）のとおり。

今後の取組み	・子どもたちの視点に立った施設づくりを推進するため、子ども会議を年2回開催する。 ・SNSをはじめ、新聞や地域情報誌、テレビ、ラジオなど、多様な媒体を活用して広報活動を行う。 ・上記に加え、ホームページの充実や関係施設との相互PRにも力を入れて取り組む。 ・主催セミナーについては、学習指導要領の内容や市民ニーズを踏まえながら、料理・工作・ダンス・伝統文化体験等、様々な分野の新規講座を実施する。 【参考】次年度実施予定の新規講座数(全体の講座数):33講座(169講座) ・「子どものフロア」(4・5階)については、「また来たい!」と思ってもらえるよう、新規遊具の開発・製作を推進するとともに、各コーナーのリニューアルを定期的に行う。また、この施設の利用者を対象としたミニイベントも積極的に実施する。 【年間目標】新規遊具の開発・製作:8種類以上 ミニイベント:70回以上 ・子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”や小中学校と連携しながら、「ドリーム ホット スペース」(2階)の平日利用の促進を図る。 ・草潤中学校の学校行事に参画し、職員の専門性やノウハウを生かした体験活動を提供する。 ・30周年記念イベントとして、5月5日に「ドリームフェスタ」を開催し、当館の魅力を広くPRする。 ・節電・節水等の省エネ対策を徹底するとともに、廃材の有効活用や職員による自前修繕を推進し、経費の削減を図る。 ・「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」や「ぎふし共育・女性活躍企業」などの認定基準に照らし、職場環境の維持・向上に努める。 ・職員研修計画に基づき、職員の研修会への参加や資格取得を推進する。 【年間目標】職員研修:全職員6回以上 新規の資格取得:3名以上 ・児童館・児童センターや柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」などの市内公共施設への出前講座やイベント協力を積極的に実施する。 【年間目標】出前講座:10回以上 イベント協力:7回以上 ・ドリームサポーター(施設ボランティア)に加え、市民活動団体や大学サークルなどにも当館の事業への参画を呼びかけ、市民協働を推進する。 ・小中学校や高校、大学などと連携し、職場体験(就業体験)の機会を広く提供する。
---------------	--

●所管課の意見

○子どものフロアにおいて職員手づくりの遊具を新たに3種類設置したり、新規講座を多数開催するなど、様々な新規事業を工夫して実施している。
○施設ボランティアにイベントの企画・運営などを行ってもらったり、ドリームフェスタを市民活動団体などと協働して開催するなど、住民や地域の団体との連携に努めている。
○柳ヶ瀬子育て支援施設ツナグテとの連携や、児童館・児童センターや各種施設等への出前講座の実施、中学生への職場体験の提供など、社会活動に積極的に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。
ドリームシアター岐阜は子どもの居場所としての役割があることから、アンケート等子どもの意見を大切にし、今後も運営に努めて欲しい。
意見交流会や子ども会議を実施する活動や様々な体験講座への取組みが評価できる。
子ども会議を開催するなど子どもたちの視点にたった支援ができています。
子どものイベント等、モデル的な取組が多いことから、他の児童館職員がその運営方法を学べる機会があるといい。